

学校教育目標

自ら学ぶ意欲と豊かな心をもち、たくましく生きる児童の育成



めざす児童像

知・徳・体のバランスのとれた
教育をめざす

たくましい子
・元気いっぱい
・汗いっぱい

進んで学ぶ子
・考えいっぱい
・発表いっぱい

やさしい子
あいさついっぱい
・友達いっぱい

ひとみ輝く西海の子

経営方針

保護者

学校との交流、連携

- ・授業参観
- ・懇談会
- ・学校公開
- ・個人面談
- ・学校評価・アンケート等
- ・基本的生活習慣の定着
- ・家庭学習の励行

PTA 活動

- ・学校教育活動支援
- ・本部
- ・学級委員会
- ・地域校外部
- ・スクールガード
- ・地域パトロール
- ・登校見守り
- ・除草作業
- ・ベルマーク活動
- ・クリーン船橋
- 船橋をきれいにする日

めだかの会（父親部）

- ・運動会運営・設営協力
- ・めだか祭り
- ・キャンプ
- ・秋まつり（焼き芋大会）
- ・もちつき大会
- ・清掃活動

部活動

- ・器楽部保護者会
- ・特設部活動援助

めざす教員像

- 絶えず研究し授業を改善しようとする教員
- 子供と共に学び、子供の成長にやりがいを感じる教員
- 保護者や地域に信頼される教員

全職員の協働体制

地域・ボランティア

地域と共に歩む学校づくり

- ・学校運営協議会
- ・地域学校協働活動
- ・学校支援ボランティア（図書・英語・国際理解、花・緑化、校内環境美化、スクールガード）
- ・地域ふれあい祭
- ・学校開放団体による美化活動
- ・海神4・5丁目自治会文化祭
- ・龍神社祭礼神輿担ぎ

体験学習

- ・食育、防犯、エゴ、商店街、小松菜農家、学区探検、交流等

公共機関

- ・人権・租税・薬物乱用・情報モラル・認知症理解等の教室
- ・就学時健診時子育て講演会（保護者向け）

幼・保・小連携

- ・幼保小交流 ・連携
- ・入学前体験

小・中連携

- ・職場体験
- ・4校連絡協議会
- ・出前授業

安全

- ・登下校時スクールガード

(1) 学年・学級経営の充実《人間関係づくり・学び合い》

- ①児童一人一人が安心して、確かな自己存在感・有用感をもてるような「心の居場所」となる学級づくりに努める。
- ②学年会を授業の教材研究や教育活動の計画・実践・評価・改善の場として活用する。

(2) 確かな学力の向上《基礎基本の習得・根拠の明確な説明力》

- ①学習規律の徹底を図るとともに、学習に意欲的に取り組める環境づくりを重視する。
チャイム着席、立腰姿勢、机上の物の位置・話の聴き方、発表の仕方、ノートの書き方等
- ②基礎的・基本的な知識・技能を着実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の向上を図る。
- ③特別な支援を要する児童は、個別支援・指導計画を作成し、計画的・継続的に実践する。
- ④ICTの効果的な活用による学力向上を目指す。
- ⑤環境問題への理解を深め、環境学習・環境教育を推進する。

(3) 心の教育の推進《多様性と人権への理解》

- ①自己の生き方を考え、自立した人間として他者と共によりよく生きるための道徳性を養う。
- ②豊かな人間関係づくり（ピア・サポート）、体験活動や家庭・地域とともに取り組む活動を通して、児童の内面に根ざした豊かな心の育成を図る。
- ③特別支援学級と通常学級との交流学習等を積極的に行い、互いに理解し、認め合う力を育む。
- ④自他共に尊重し、「いのち」を大切にすることを育む。

(4) 健康教育の充実

- ①学校教育活動全体を通じて体力の向上と心身の健康の保持増進に努める。
- ②健康・安全な生活、食に関する指導の充実を目指し、家庭・地域との連携を図る。

(5) 生徒指導・特別支援教育の充実

- ①全職員の共通理解・共通行動に基づき、基本的生活習慣の確立を図る。
・西海小5つの約束（校帽・名札、挨拶、外遊び、右側歩行、静かな清掃）
- ②全職員の共通理解のもと、いじめ、不登校等の指導・支援・解決に組織的に取り組む。
- ③発達や状況に即した児童理解に努め、特別支援教育・教育相談活動を充実させるとともに、必要に応じ関係専門機関との連携を図る。

(6) 研究・研修の充実【校内研究：主体的・対話的で深い学びの実現を目指した体育学習】

- ①課題意識、目的意識をもつような単元構成を行い、対話的な学びを推進し、児童の主体的な学習を実践する。
- ②授業研究会や実技研修会等に積極的に取り組み、教師の専門性の向上を図る。
- ③環境に関する学びの場を設定する。

(7) 環境の整備と勤労意欲の向上

- ①清掃・奉仕活動を充実させ、きれいな学校を目指すとともに、協働・勤労意欲を高める。

(8) 開かれた学校づくり

- ①授業参観・懇談会、ホームページ、学校便り等により、教育活動について理解・協力を得る。
- ②保護者・地域の教育力を活用しその声を学校運営に活かし信頼される学校づくりを推進する。

(9) 安全・安心な学校づくり

- ①交通安全指導、交通安全教室、不審者対応訓練、火災・地震等の避難訓練を実施し、「自分の身は自分で守る」意識と実践力の向上を図る。

本年度の重点

1 確かな学力の向上

◎基礎・基本を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の向上を図る。

- (1)「よく聴き、しっかりと考え、相手に伝わるように説明する」学習習慣の定着を図る。
 - ・よく聴き…話している人の方を向き、大事なこと（要点・意図）を聴く。
 - ・しっかりと考え…前の学習と比べたり結びつけたりして考える。
 - ・相手に伝わるように説明する…理由や根拠を明確にして書いたり話したりする。
- (2)『めあて（課題）を理解し解決にむけて思考し、振り返りを元に新たなめあてをもつ』という課題か解決型の授業を行い、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにする。

2 豊かな心の育成

◎「特別の教科 道徳」及び体験学習等を通して、児童の内面に根ざした豊かな心の育成を図る。

- (1)心の揺れや葛藤から、道徳的価値に迫る議論を重視し、自己の生き方について考え、判断する力を育てる授業を工夫する。
 - (2)交流及び体験活動等を通して認め合い、かかわり合う力を高める。
 - (3)いろいろな「いのち」と関わり、道徳的価値の形成を図る。
- #### 3 体育・健康に関する適切な習慣の育成
- ◎学校教育活動全体を通して、計画的・組織的に推進する。
- (1)立腰指導の習慣化を図り、正しい姿勢を身に付ける。
 - (2)「指導と評価の一体化」を目指した体育授業を展開し、公開研究会で研究の成果を発表する。
 - (3)外遊び、「体力ふなばしナンバーワン」等を活用し、体力の向上を図る。